

第3号事業

平成27年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-1
事業名	トップアスリートとの交流事業			担 当 課	スポーツ課
				変 更 内 容	—
目 的	1.一流の技術や迫力に触れる機会を提供し、感動や忘れられない思い出を与え、将来への夢を抱ききっかけづくりを行う。 2.スポーツの楽しさを体験できる機会を提供し、スポーツ活動への興味や参加へのきっかけづくりを行う。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	50	50	0	部	経常増減の部
自主財源	920	1,087	△ 167	大科目	事業費
区補助金	1,990	1,971	19	種別	自主事業
経常収益計	2,960	3,108	△ 148	(単位:千円)	
事業費	970	1,137	△ 167		
人件費	1,990	1,971	19		
経常費用計	2,960	3,108	△ 148		

事業の計画

1 実施内容(予定)

プロスポーツ公式戦への招待やスポーツ教室等を通じ、トップアスリートの技術や迫力に触れる機会を提供する。

- (1) 試合観戦・交流ツアー等
プロスポーツ公式戦等区民無料・優待観戦、選手との交流や見学ツアー等の実施。
- (2) スポーツ教室・体験会・講演会等
トップアスリートによるスポーツ教室・体験会等を単発または通年で実施。
新たに大人を対象とした、トップアスリートによる単発/短期スポーツ教室を開催。
- (3) 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けての関連事業を実施。

2 成果指標

延べ参加者数/5,200人(平成25年度実績:5,011人)

3 実施上の課題

- (1) 事業実施にあたり、新規連携先の開拓や、既存連携先との協議により、種目数、実施数、定員数の拡大を図り、より多くの区民に参加の機会を提供する。
- (2) 2020年東京オリンピック・パラリンピック関連イベント等と連携した事業の実施方法検討。

4 顧客満足度の向上方策

区民に多彩なプログラムを提供できるよう、新規連携先を確保する。

5 実績

(平成25年度)

- (1) 東京ヴェルディサンクスマッチ(手つなぎキッズ・ピッチ見学等/公式戦無料) 5/12(日) 延べ1,345人
- (2) 埼玉西武ライオンズ感謝デー(バックヤード見学ツアー/公式戦優待割引) 6/1(土) 延べ69人
- (3) GTFキッズスポーツサミット(小学4～6年生対象8種目スポーツ教室) 7/26(金) 延べ187人
- (4) 東京ヤクルトスワローズ燃えろ!ナイター(バックヤード見学/公式戦中学生以下無料・大人優待割引) 8/2(金)～4(日) 延べ374人
- (5) 大相撲ランドin新宿スポレク2013(中学生以下対象相撲体験) 10/14(月祝) 延べ171人
- (6) NBLバスケット・日立サンロッカーズ東京キッズアクション(小中学生対象練習見学・公式戦無料/区民優待割引) 11/23(土) 延べ55人
- (7) 東京ヴェルディ・バレーボールフェスタ(教室/公式戦無料観戦) 2/15(土)～16(日) 延べ87人
- (8) NPOつばめスポーツ振興協会(ヤクルトスワローズ) つばめ野球教室(新小学5～6年生対象) 3/21(金祝) 延べ153人
- (9) ジャイアンツアカデミー新宿スクール(幼児・小学生通年野球教室) 4～3月 延べ2,570人

6 対前年度予算増減説明

- (1) 実績精査による通信運搬費の増、消耗品費の減
- (2) 委託費から諸謝金への組替えによる諸謝金の増、組替えおよび実績精査による委託費の減

根拠法令	スポーツ基本法	事業開始	平成18年度
------	---------	------	--------

平成27年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-2
事業名	<特定費用準備資金充当事業> 新宿シティハーフマラソン・ 区民健康マラソン(総括)			担当課	マラソン課
				変更内容	実施手法
目 的	「健康推進都市新宿」を区内外へ積極的に発信するとともに、子どもから高齢者・障がい者等の誰もが、気軽に集い楽しめる場を提供するため、区民をはじめ多くの人に親しまれるマラソンを実施する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
自主財源	6,000	6,000	0	大科目	事業費
区補助金	34,181	34,746	△ 565	種別	自主・補助
経常収益計	40,181	40,746	△ 565	(単位:千円)	
事業費	15,224	16,433	△ 1,209		
人件費	24,957	24,313	644		
経常費用計	40,181	40,746	△ 565		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 実施日 平成28年1月31日(日)
- (2) 会 場 神宮球場、神宮外苑、外苑周辺道路、外苑東通り、新宿通り、靖国通りほか
※神宮球場及び神宮外苑をメイン会場として、國學院高等学校その他施設をサブ会場として確保のうえ大会を実施する。
- (3) コース ハーフマラソンは、平成25年度より取り組んできた拡大新コースによる実施を目指す。他の種目は、国立競技場改築工事状況により、安全の確保できるコースで実施する。
- (4) 実施内容 ①ハーフマラソンの部(男女別:陸連登録、一般、40歳以上、50歳以上、60歳以上)
②10kmの部(男女別:陸連登録、一般、40歳以上、50歳以上、60歳以上)
③区民健康マラソンの部(3km、2km、ファミリー、ファンラン、スペシャル、ひよこ)
※国立競技場改築及び神宮球場耐震改修工事に伴い、イベントは中止する。
国立競技場改築工事に伴い、コースの安全確保が困難な種目は休止を検討する。

2 成果指標

延べ参加者数/10,000人(平成25年度実績:21,361人 うち競技参加者数:11,361人)
※国立競技場改築及び神宮球場耐震改修工事により、イベントを実施できないため。

3 実施上の課題

- (1) 円滑な大会実施に向け警視庁をはじめとする関係諸機関と綿密な調整を行う。
- (2) 安定したボランティアの確保と、育成・組織体制の構築により、大会規模の拡大に対応する。
- (3) 参加者満足度の向上と安全安心な拡大新コースの実施を目指し、事務局及び運営体制を強化する。
- (4) 財政基盤の強化により安定した大会運営を行うため、協賛獲得にむけた取り組みを強化する。

4 顧客満足度の向上方策

国立競技場の改装工事期間中も魅力ある大会とするため、ハーフマラソンの区内全域に拡大した新コースでの実施を目標に、新宿区の魅力を全国に発信できる大会としての継続発展とともに、問合せフォームへの意見等から、参加者の要望を把握し、安全で安心な参加者が満足できる大会となるよう改善する。

5 実績

平成25年度(第12回大会)
申込者数13,252人(ハーフマラソン5,016人、10km2,816人、健康マラソン5,420人)
ハーフマラソン抽選申込者15,332人 区民参加者数4,280人 区民参加率32.2%(前回比6.7%増)

6 対前年度予算増減説明

区の方針減

【参考】特定費用準備資金の状況

- (1) 資金の名称:新宿シティハーフマラソン積立資産
- (2) 活動の実施予定時期:平成26年度から平成30年度
- (3) 積立金額:30,000,000円
- (4) 本事業への充当額:12,000,000円
平成26年度(決算見込)6,000,000円、平成27年度(予算)6,000,000円
- (5) 資金残額:18,000,000円

根拠法令	スポーツ基本法、社会教育法	事業開始	昭和61年度
------	---------------	------	--------

平成27年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-2
事業名	<特定費用準備資金充当事業> 新宿シティハーフマラソン・ 区民健康マラソン(自主)			担当課	マラソン課
				変更内容	実施手法
目 的	「健康推進都市新宿」を区内外へ積極的に発信するとともに、子どもから高齢者・障がい者等の誰もが、気軽に集い楽しめる場を提供するため、区民をはじめ多くの人に親しまれるマラソンを実施する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
自主財源	6,000	6,000	0	大科目	事業費
区補助金	0	0	0	種別	自主事業
経常収益計	6,000	6,000	0	(単位:千円)	
事業費	6,000	6,000	0		
人件費	0	0	0		
経常費用計	6,000	6,000	0		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 実施日 平成28年1月31日(日)
- (2) 会 場 神宮球場、神宮外苑、外苑周辺道路、外苑東通り、新宿通り、靖国通りほか
※神宮球場及び神宮外苑をメイン会場として、國學院高等学校その他施設をサブ会場として確保のうえ大会を実施する。
- (3) コース ハーフマラソンは、平成25年度より取り組んできた拡大新コースによる実施を目指す。他の種目は、国立競技場改築工事状況により、安全の確保できるコースで実施する。
- (4) 実施内容 ①ハーフマラソンの部(男女別:陸連登録、一般、40歳以上、50歳以上、60歳以上)
②10kmの部(男女別:陸連登録、一般、40歳以上、50歳以上、60歳以上)
③区民健康マラソンの部(3km、2km、ファミリー、ファンラン、スペシャル、ひよこ)
※国立競技場改築及び神宮球場耐震改修工事に伴い、イベントは中止する。
国立競技場改築工事に伴い、コースの安全確保が困難な種目は休止を検討する。

2 成果指標

延べ参加者数/10,000人(平成25年度実績:21,361人 うち競技参加者数:11,361人)
※国立競技場改築及び神宮球場耐震改修工事により、イベントを実施できないため。

3 実施上の課題

- (1) 円滑な大会実施に向け警視庁をはじめとする関係諸機関と綿密な調整を行う。
- (2) 安定したボランティアの確保と、育成・組織体制の構築により、大会規模の拡大に対応する。
- (3) 参加者満足度の向上と安全安心な拡大新コースの実施を目指し、事務局及び運営体制を強化する。
- (4) 財政基盤の強化により安定した大会運営を行うため、協賛獲得にむけた取り組みを強化する。

4 顧客満足度の向上方策

国立競技場の改装工事期間中も魅力ある大会とするため、ハーフマラソンの区内全域に拡大した新コースでの実施を目標に、新宿区の魅力を全国に発信できる大会としての継続発展とともに、問合せフォームへの意見等から、参加者の要望を把握し、安全で安心な参加者が満足できる大会となるよう改善する。

5 実績

平成25年度(第12回大会)
申込者数13,252人(ハーフマラソン5,016人、10km2,816人、健康マラソン5,420人)
ハーフマラソン抽選申込者15,332人 区民参加者数4,280人 区民参加率32.2%(前回比6.7%増)

6 対前年度予算増減説明

区の方針減

【参考】特定費用準備資金の状況

- (1) 資金の名称:新宿シティハーフマラソン積立資産
- (2) 活動の実施予定時期:平成26年度から平成30年度
- (3) 積立金額:30,000,000円
- (4) 本事業への充当額:12,000,000円
平成26年度(決算見込)6,000,000円、平成27年度(予算)6,000,000円
- (5) 資金残額:18,000,000円

根拠法令	スポーツ基本法、社会教育法	事業開始	昭和61年度
------	---------------	------	--------

平成27年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-2
事業名	<特定費用準備資金充当事業> 新宿シティハーフマラソン・ 区民健康マラソン(補助)			担当課	マラソン課
				変更内容	実施手法
目 的	「健康推進都市新宿」を区内外へ積極的に発信するとともに、子どもから高齢者・障がい者等の誰もが、気軽に集い楽しめる場を提供するため、区民をはじめ多くの人に親しまれるマラソンを実施する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	34,181	34,746	△ 565	大科目	事業費
経常収益計	34,181	34,746	△ 565	種別	補助事業
事業費	9,224	10,433	△ 1,209	(単位:千円)	
人件費	24,957	24,313	644		
経常費用計	34,181	34,746	△ 565		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 実施日 平成28年1月31日(日)
- (2) 会 場 神宮球場、神宮外苑、外苑周辺道路、外苑東通り、新宿通り、靖国通りほか
※神宮球場及び神宮外苑をメイン会場として、國學院高等学校その他施設をサブ会場として確保のうえ大会を実施する。
- (3) コース ハーフマラソンは、平成25年度より取り組んできた拡大新コースによる実施を目指す。他の種目は、国立競技場改築工事状況により、安全の確保できるコースで実施する。
- (4) 実施内容 ①ハーフマラソンの部(男女別:陸連登録、一般、40歳以上、50歳以上、60歳以上)
②10kmの部(男女別:陸連登録、一般、40歳以上、50歳以上、60歳以上)
③区民健康マラソンの部(3km、2km、ファミリー、ファンラン、スペシャル、ひよこ)
※国立競技場改築及び神宮球場耐震改修工事に伴い、イベントは中止する。
国立競技場改築工事に伴い、コースの安全確保が困難な種目は休止を検討する。

2 成果指標

延べ参加者数/10,000人(平成25年度実績:21,361人 うち競技参加者数:11,361人)
※国立競技場改築及び神宮球場耐震改修工事により、イベントを実施できないため。

3 実施上の課題

- (1) 円滑な大会実施に向け警視庁をはじめとする関係諸機関と綿密な調整を行う。
- (2) 安定したボランティアの確保と、育成・組織体制の構築により、大会規模の拡大に対応する。
- (3) 参加者満足度の向上と安全安心な拡大新コースの実施を目指し、事務局及び運営体制を強化する。
- (4) 財政基盤の強化により安定した大会運営を行うため、協賛獲得にむけた取り組みを強化する。

4 顧客満足度の向上方策

国立競技場の改装工事期間中も魅力ある大会とするため、ハーフマラソンの区内全域に拡大した新コースでの実施を目標に、新宿区の魅力を全国に発信できる大会としての継続発展とともに、問合せフォームへの意見等から、参加者の要望を把握し、安全で安心な参加者が満足できる大会となるよう改善する。

5 実績

平成25年度(第12回大会)
申込者数13,252人(ハーフマラソン5,016人、10km2,816人、健康マラソン5,420人)
ハーフマラソン抽選申込者15,332人 区民参加者数4,280人 区民参加率32.2%(前回比6.7%増)

6 対前年度予算増減説明

区の方針減

【参考】特定費用準備資金の状況

- (1) 資金の名称:新宿シティハーフマラソン積立資産
- (2) 活動の実施予定時期:平成26年度から平成30年度
- (3) 積立金額:30,000,000円
- (4) 本事業への充当額:12,000,000円
平成26年度(決算見込)6,000,000円、平成27年度(予算)6,000,000円
- (5) 資金残額:18,000,000円

根拠法令	スポーツ基本法、社会教育法	事業開始	昭和61年度
------	---------------	------	--------

平成27年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-3
事業名	新宿スポレク			担 当 課	スポーツ課
				変更内容	—
目 的	体育の日に、区民が気軽に参加できるスポーツイベントを実行委員会形式で実施し、多様なスポーツレクリエーション活動に親しむ機会を提供する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	95	95	0	部	経常増減の部
区補助金	3,417	3,422	△ 5	大科目	事業費
経常収益計	3,512	3,517	△ 5	種別	補助事業
事業費	2,321	2,337	△ 16	(単位:千円)	
人件費	1,191	1,180	11		
経常費用計	3,512	3,517	△ 5		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 日時 体育の日(毎年10月第二月曜 平成27年10月12日(月・祝))9時30分から15時30分
- (2) 会場 新宿コズミックスポーツセンター、新宿スポーツセンター、ほか
- (3) 連携先 新宿区体育協会、新宿区レクリエーション協会、新宿区スポーツ推進委員協議会、新宿区青少年団体育成連合会ほか、区内団体、都内民間企業
- (4) 延べ来場者数 20,000人
- (5) スケジュール
 - ①5月上旬:第1回実行委員会(事業説明、企画募集説明、意見交換)
 - ②6月中旬:出展者説明会(リーフレット等広報デザイン決定、企画締切、実施内容発表、調整等)
 - ③8月上旬:第2回実行委員会(出展・出店団体決定、意見交換、調整)
 - ④8月下旬:第1回全体連絡会(イベント当日の運営について説明・調整)
 - ⑤9月下旬:第2回全体連絡会(当日のイベント運営について最終説明・調整)
- (6) その他
2020年東京オリンピック・パラリンピックに関連する企画を実施する。

2 成果指標

延べ来場者数/20,000人(平成26年度実績:18,166人)

3 実施上の課題

- (1) スポーツとレクリエーションの催しに特化し、レガスマつりととの差別化を図る。
- (2) 前述連携先に加え、区生涯学習協働ネットワーク登録団体、オリンピック・パラリンピアン所属団体等へ新規参画を呼びかける。
- (3) 内容充実に向けた、新規協賛企業の獲得・新規出展への工夫(会場確保を含む)を検討する。

4 顧客満足度の向上方策

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、関係団体との連携を強化することで、プロアスリートの招聘等、次代を担う子ども達の興味・関心を喚起させるイベントを継続的に実施する基盤を作る。

5 実績

平成26年度	延べ参加団体数:81団体	延べ来場者数:18,166人
平成25年度	延べ参加団体数:76団体	延べ来場者数:15,889人
平成24年度	延べ参加団体数:86団体	延べ来場者数:15,615人
平成23年度	延べ参加団体数:83団体	延べ来場者数:12,661人

6 対前年度予算増減説明

- (1) 招聘するオリンピック等が当日使用する競技用備品賃借料の増
- (2) 招聘するオリンピック等の対応者(司会進行等)の諸謝金の増

根拠法令	スポーツ基本法、社会教育法	事業開始	昭和59年度
------	---------------	------	--------

平成27年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成		事業・枝事業番号	3-4	
事業名	レガス健康づくり事業			担当課	スポーツ課
				変更内容	—
目 的	新宿コズミックスポーツセンターを中心とした区内公共施設で、区民が定期的・継続的に健康・体力づくりを行うことができる多彩なプログラムを提供し、心身ともに健やかに暮らすことができる、質の高い生活環境の整備に寄与する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	19,772	19,216	556	部	経常増減の部
自主財源	△ 3,797	△ 3,601	△ 196	大科目	事業費
区補助金	2,773	2,748	25	種別	自主事業
経常収益計	18,748	18,363	385	(単位:千円)	
事業費	15,975	15,615	360		
人件費	2,773	2,748	25		
経常費用計	18,748	18,363	385		

事業の計画

1 実施内容(予定)

レガスポ！(スポーツプログラムの提供)

- (1) レガスポ！ 通年講座(週41講座)・最少催行20人 【会場】新宿コズミックスポーツセンター
ヨガ、ピラティスなど、高校生以上の高齢者や親子を含むさまざまな年齢層が参加できるプログラムを提供。
- (2) レガスポ！10 短期講座(年12講座)・最少催行20人 【会場】新宿コズミックスポーツセンター
アンケート等でリクエストが多く、近年話題のプログラムや、新講座・ジャンルを提案し提供する。
- (3) 出張レガスポ！ 短期講座(年14講座)・最少催行15人 【会場】生涯学習館/大久保スポーツプラザ
人気講座を新宿コズミックスポーツセンター以外の地域でも実施することで、利便性を高め、利用者の要望に応える。レガスポ！への参加の機会を増やし、満足度の向上と指定管理維持に貢献する。
- (4) 出前レガスポ！
区及び区内団体等の依頼により、講師手配や用品貸出を行い、区内のスポーツ振興に寄与する。

2 成果指標

延べ参加者数/50,000人(平成25年度実績:51,510人)

3 実施上の課題

- (1) 通年講座のうち、平均延べ参加者数が最少催行に満たない種目を短期講座開催に切替える。
- (2) 短期講座の運営を効率化し、平成28年度より区内各所での開催数の増が可能となる運営体制を作る。

4 顧客満足度の向上方策

新宿コズミックスポーツセンターでの通年講座開催は供給過剰の傾向にあるため、区内各地域での開催を促進し、身近な場所で多様なスポーツ活動の機会を提供する。

5 実 績

(単位:人)

	平成25年度	平成24年度	平成23年度
(1) 通年レガスポ！	44,587 (39講座)	43,314 (38講座)	37,750 (37講座)
(2) レガスポ！10	3,120 (15講座)	5,482 (17講座)	2,750 (14講座)
(3) 出張レガスポ！	2,051 (19講座)	3,235 (18講座)	705 (8講座)
(4) 出前レガスポ！	50 (2講座)		
(5) 託児サービス	1,702	1,827	1,707
計	51,510	53,858	42,912

6 対前年度予算増減説明

講座数の拡充及び実態に即した託児回数見直しによる諸謝金の増

根拠法令	スポーツ基本法	事業開始	平成12年度
------	---------	------	--------

平成27年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-5
事業名	新宿区体育協会及び新宿区レクリエーション協会加盟団体への支援			担 当 課	スポーツ課
				変更内容	—
目 的	「一般社団法人新宿区体育協会」及び「NPO法人新宿区レクリエーション協会」加盟団体の活動を支援することにより、区民のスポーツ活動の振興を図る。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	6,709	6,795	△ 86	大科目	事業費
経常収益計	6,709	6,795	△ 86	種別	補助事業
事業費	1,946	2,076	△ 130	(単位:千円)	
人件費	4,763	4,719	44		
経常費用計	6,709	6,795	△ 86		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 「一般社団法人新宿区体育協会」の事務局運営の支援
- (2) 「一般社団法人新宿区体育協会」加盟団体及び「NPO法人新宿区レクリエーション協会」の財団管理施設利用における、優先利用・利用料減免
- (3) 両団体の加盟団体主催事業に対する広報協力等
- (4) 「平成27年度 都民体育大会」結団式の開催
- (5) 「平成27年度 都民体育大会(第68回春季大会、第69回夏季大会・冬季大会)」への選手派遣
- (6) 「第68回都民体育大会春季大会」開会式・閉会式への参加
- (7) 「第27回都民スポレクふれあい大会」への選手派遣
- (8) 「平成27年度 都民生涯スポーツ大会」への選手派遣
- (9) 「第64回東京都フナ釣り・ハゼ釣り大会」への選手派遣

2 成果指標

両団体の組織拡充に繋がる支援

3 実施上の課題

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とする、中期的な支援計画の協議・策定

4 顧客満足度の向上方策

受賞者や成績優秀者の財団広報紙及びホームページ等での紹介

5 実績

- (1) 両団体の加盟団体主催事業に対する広報協力等 11団体 20事業(平成25年度実績)
- (2) 「代表選手の派遣」の実績 27種目 699人(平成25年度実績) (単位:人)

年度	都民大会春	都民大会夏	都民大会冬	都フナ釣り	都ハゼ釣り	都民生涯スポ	都民スポレク	合計	結団式	都民開会式
平成25年度	339	35	31	5	6	141	142	699	68	87
平成24年度	342	35	37	7	5	129	150	705	72	106
平成23年度	299	25	31	中止(※)	7	164	134	660	45	38

(※)平成23年度の東京都ハゼ釣り大会は、東日本大震災の影響で中止

6 対前年度予算増減説明

事業内容精査による使用料賃借料の減

根拠法令	社会教育法、スポーツ基本法	事業開始	昭和46年度
------	---------------	------	--------

平成27年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-6
事業名	区民スポーツ大会(総括)			担当課	スポーツ課
				変更内容	事業拡大
目 的	区民が日頃のスポーツ活動の成果を発表できる機会をつくることにより、スポーツ活動が継続的に行われるよう支援し、区民の健康や体力の増進を図る。併せて、大会を通して区民の親睦と交流を図る。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	1,567	1,567	0	部	経常増減の部
自主財源	1,177	0	1,177	大科目	事業費
区補助金	11,905	11,943	△ 38	種別	自主・補助
経常収益計	14,649	13,510	1,139	(単位:千円)	
事業費	11,876	10,762	1,114		
人件費	2,773	2,748	25		
経常費用計	14,649	13,510	1,139		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 大会期間
 - ① 総合開会式 平成27年9月6日(日)
 - ② 大会期間 平成27年4月～28年3月
- (2) 実施競技

一般の部31競技、中学の部11競技(前年度と増減なし)
小学生の部4競技(前年度と増減なし) 計46競技を実施予定
- (3) 参加料
 - ①個人競技 200円
 - ②ペア競技 400円
 - ③団体競技 15人以上登録競技2,000円、5人前後登録競技1,200円
- (4) 大会の運営体制拡充に伴う経費の新規計上

2 成果指標

参加者数/18,000人(平成25年度実績:17,744人)

3 実施上の課題

- (1) 区内で普及が進んでいるニュースポーツ等の新種目の実施について検討する。
- (2) 継続的かつ発展的な大会運営を実現するため、運営体制を強化するとともに、各種目の競技主管団体との役割分担の適正化を図る。

4 顧客満足度の向上方策

各競技の現状に即して「一般の部」の中に「シニアの部」を設ける等、柔軟な対応を検討する。

5 実績

平成25年度 新宿区民総合体育大会
参加者数:16,337人 一般の部 31種目 中学生の部 10種目 小学生の部 2種目

※平成26年度より新宿区民総合体育大会に統合
小中学生スポーツ大会 参加者数:1,407名
(小学生野球大会:484名 中学生野球大会:163名 小学生サッカー大会:760名)

6 対前年度予算増減説明

- (1) 大会の運営体制拡充に伴うパートタイム職員経費の新規計上(自主)
- (2) 新規種目(女子サッカー、シニアの部種目等)の増加に伴う消耗品費の増
- (3) 陸上大会の会場変更(味の素スタジアム西競技場)に伴う会場設営撤去に係る委託料の増

根拠法令	社会教育法、スポーツ基本法	事業開始	昭和41年度
------	---------------	------	--------

平成27年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成		事業・枝事業番号	3-6	
事業名	区民スポーツ大会(自主)			担当課	スポーツ課
				変更内容	新規
目 的	区民が日頃のスポーツ活動の成果を発表できる機会をつくることにより、スポーツ活動が継続的に行われるよう支援し、区民の健康や体力の増進を図る。併せて、大会を通して区民の親睦と交流を図る。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
自主財源	1,177	0	1,177	大科目	事業費
区補助金	0	0	0	種別	自主事業
経常収益計	1,177	0	1,177	(単位:千円)	
事業費	1,177	0	1,177		
人件費	0	0	0		
経常費用計	1,177	0	1,177		

事業の計画

1 実施内容(予定)

大会運営体制強化のため、大会運営経費に人件費(パートタイム職員1名)相当分を計上する。

2 成果指標

区民スポーツ大会(総括)に記入

3 実施上の課題

継続的かつ発展的な大会運営を実現するため、運営体制を強化するとともに、各種目の競技主管団体との役割分担の適正化を図る。

4 顧客満足度の向上方策

各競技の現状に即して「一般の部」の中に「シニアの部」を設ける等、柔軟な対応を検討する。

5 実績

平成25年度 新宿区民総合体育大会

参加者数:16,337人 一般の部 31種目 中学生の部 10種目 小学生の部 2種目

※平成26年度より新宿区民総合体育大会に統合

小中学生スポーツ大会 参加者数:1,407名

(小学生野球大会:484名 中学生野球大会:163名 小学生サッカー大会:760名)

6 対前年度予算増減説明

大会の運営体制拡充に伴う経費の新規計上

根拠法令	社会教育法、スポーツ基本法	事業開始	昭和41年度
------	---------------	------	--------

平成27年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成		事業・枝事業番号	3-6	
事業名	区民スポーツ大会(補助)			担当課	スポーツ課
				変更内容	—
目 的	区民が日頃のスポーツ活動の成果を発表できる機会をつくることにより、スポーツ活動が継続的に行われるよう支援し、区民の健康や体力の増進を図る。併せて、大会を通して区民の親睦と交流を図る。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	1,567	1,567	0	部	経常増減の部
区補助金	11,905	11,943	△ 38	大科目	事業費
経常収益計	13,472	13,510	△ 38	種別	補助事業
事業費	10,699	10,762	△ 63	(単位:千円)	
人件費	2,773	2,748	25		
経常費用計	13,472	13,510	△ 38		

事業の計画

<p>1 実施内容(予定)</p> <p>(1) 大会期間</p> <p>① 総合開会式 平成27年9月6日(日)</p> <p>② 大会期間 平成27年4月～28年3月</p> <p>(2) 実施競技</p> <p>一般の部31競技、中学の部11競技(前年度と増減なし)</p> <p>小学生の部4競技(前年度と増減なし) 計46競技を実施予定</p> <p>(3) 参加料</p> <p>①個人競技 200円</p> <p>②ペア競技 400円</p> <p>③団体競技 15人以上登録競技2,000円、5人前後登録競技1,200円</p> <p>2 成果指標</p> <p>参加者数/18,000人(平成25年度実績:17,744人)</p> <p>3 実施上の課題</p> <p>区内で普及が進んでいるニュースポーツ等の新種目の実施について検討する。</p> <p>4 顧客満足度の向上方策</p> <p>各競技の現状に即して「一般の部」の中に「シニアの部」を設ける等、柔軟な対応を行う。</p> <p>5 実績</p> <p>平成25年度 新宿区民総合体育大会</p> <p>参加者数:16,337人 一般の部 31種目 中学生の部 10種目 小学生の部 2種目</p> <p>※平成26年度より新宿区民総合体育大会に統合</p> <p>小中スポーツ大会 参加者数:1,407名</p> <p>(小学生野球大会:484名 中学生野球大会:163名 小学生サッカー大会:760名)</p> <p>6 対前年度予算増減説明</p> <p>(1)パートタイム職員賃金を自主事業経費へ計上したため、臨時雇用賃金(補助)の皆減</p> <p>(2)新規種目(女子サッカー、シニアの部種目等)の増加に伴う消耗品費の増</p> <p>(3)陸上大会の会場変更(味の素スタジアム西競技場)に伴う会場設営撤去に係る委託料の増</p>	<p>根拠法令</p> <p>社会教育法、スポーツ基本法</p> <p>事業開始</p> <p>昭和41年度</p>
---	--

平成27年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-7
事業名	団体等と連携したスポーツ普及事業			担当課	スポーツ課 子ども支援課
				変更内容	—
目 的	1.スポーツ団体をはじめとする地域団体等との連携により多様な種目の講座を実施し、各種目の普及と振興を目指し、かつ団体の活動活性化を図る。 2.区民に対し、気軽にスポーツに取り組む機会を提供し、スポーツ習慣の定着を図るとともに、健康で豊かな生活の促進に寄与する。 3.スポーツを通じた区民相互の交流を図り、仲間づくりや地域コミュニティの形成に寄与する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	436	466	△ 30	部	経常増減の部
自主財源	1,039	976	63	大科目	事業費
区補助金	2,773	3,235	△ 462	種別	自主事業
経常収益計	4,248	4,677	△ 429		
事業費	1,475	1,928	△ 453		
人件費	2,773	2,749	24		
経常費用計	4,248	4,677	△ 429	(単位:千円)	

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 陸上教室(小学生等対象) 10回×30人×2講座
- (2) 健康ウォーキング 毎月1回+特別プログラム2回 合計14回
- (3) 夏休みラジオ体操 夏休み期間中、70会場以上で開催
- (4) ソフトバレーボール大会
- (5) 小学生頭脳スポーツ大会
 - 新宿区小学生将棋大会
 - 新宿区小学生百人一首大会 区内在住・在学の小学生 70人
 - 新宿区小学生囲碁大会 区内在住・在学の小学生 100人
 - ※新宿区小学生囲碁大会前に小学生囲碁教室を実施。
 - 区内在住・在学の小学生 70人

2 成果指標

延べ参加者数/90,000人(平成25年度実績:90,613人)

3 実施上の課題

陸上教室の継続的な実施のための場所を確保する。

4 顧客満足度の向上方策

- (1) 多彩なプログラムの提供による参加機会の提供と、活動継続のための場を確保する。
- (2) 小学生頭脳スポーツ大会における親子参加機会提供等、都内他大会との差別化を図る。

5 実績

平成25年度

- (1) 陸上教室(小学生等対象)(連携先:新宿レガス陸上クラブ)
 - ①夏教室 8月22日(木)~10月3日(木) 全11回 延べ参加者数:677人
 - ②冬教室 11月5日(火)~1月28日(火) 全11回 延べ参加者数:408人
- (2) 健康ウォーキング(連携先:NPO法人新宿区ウォーキング協会)

8月を除く毎月 計14回 延べ参加者数:736人
- (3) 夏休みラジオ体操(連携先:新宿区ラジオ体操会連盟他 会場:区内各71ヶ所)

開催団体 75団体 延べ開催日数1,139日 延べ参加者数:88,789人
- (4) 新宿区ソフトバレーボール大会 11月30日(土) 14チーム、98人参加
- (5) 新宿区小学生将棋大会 8月18日(日) 参加者数:42人
- (6) 新宿区小学生百人一首かるた大会 2月2日(日) 参加者数:38人
- (7) 新宿区小学生囲碁大会 3月23日(日) 参加者数:36人
 - ※小学生囲碁教室 2月18日~3月18日 毎週火曜日 全5回×2コース 参加者数:57名

6 対前年度予算増減説明

平成26年度夏季巡回ラジオ体操の終了に伴う減

根拠法令	スポーツ基本法、社会教育法	事業開始	平成22年度
------	---------------	------	--------